

令和 5 年度事業報告

(令和 5 年 4 月 1 日から令和 6 年 3 月 31 日まで)

はじめに

新型コロナウイルスは、令和 5 年 2 月に感染者数が減少し始め、令和 5 年 5 月 8 日から新型コロナの感染症法上の位置付けについて、分類を「5 類」へ引き下がりました。

令和 5 年 3 月 13 日以降は、マスクの着用は個人の判断に委ねられるように、これまでの「新しい日常」という常にマスクの着用から解放される日が近づいてきました。

当センターも、コロナ感染防止のために実施できていなかった街頭キャンペーン活動などを、感染防止の対応を行いながら、再開してきました。

センターでは、会員の皆様が健康で働けることに喜びと誇りをもって、健康づくりに、ひいては地域貢献にも役立ちたいと願う会員多数の活躍の場として、一層の充実を図っていきたいと願っています。

令和 5 年度事業の取り組みに際し、会員及び発注者の方々、並びにかほく市をはじめ県連合会から、多大なる支援を頂いたことに深く感謝申し上げます。以下に令和 5 年度事業実績状況を報告します。

1. 会員の入会促進と講習会開催による活性化

- (1) 機関紙及びかほく市広報紙を通じて、入会説明会開催等の周知を図った。
- (2) 「一人の会員が一人の仲間を増やす」をモットーに地域活動や個々の会員勧誘活動を進め、会員が希望する講習会を開催し、活力のあるセンターを目指した。
 - ・機関紙発行 (1 月 4 日 「シルバーだよりかほく 19 号」発行)
 - ・終活の講習会 (2 月 9 日 26 名参加 講師：稲森聡美様)

2. 組織活動の活性化

- (1) 各種専門委員会の活性化を図るため、意向調査を実施した。
- (2) 地域貢献活動などを行い、シルバー事業への積極的な参加を促した。
 - ・会員アンケート調査 (1 月 274 名宛てに発送)
 - ・ボランティア活動企画 (11 月 9 日 23 名参加 七塚中央公園)

3. 普及啓発活動の推進

- (1) パンフレット・チラシ・ホームページ作成等により周知を図り、受注件数の増加を図った。
- (2) 発注者へのアンケート調査を実施し、新規顧客の獲得や受注件数の増加を図った。
- (3) 当センターで実施する事業について、新聞社等への情報提供によりセンター活動を周知した。
- (4) 会員と会員家族を交えた交流イベントを実施した。
- (5) センター独自の広報を充実した。

- ・ 普及啓発チラシ<人生 100 年時代・シニアの新しい働き方>を県連合会と共同発行
- ・ お客様満足度アンケート調査（12月に223名(社)へ発送）
- ・ 北國新聞の7/21、7/29、9/29、10/22、12/7日に事業が掲載された。
- ・ ぶどう収穫体験会（8月に実施）
- ・ 会員だより等発行（毎月中旬）

4. 事業拡大と就業機会の拡大、派遣就業の取り組み

- (1) 日常生活上の生活支援が必要と市から判断された市民に対して、「軽度生活支援事業」を、会員との綿密な打ち合わせの上実施した。
- (2) 令和3年度より、「かほく市ふるさと納税」の返礼品に、シルバーの墓地清掃の受託が決まり、新たな取り組みとして、市・利用者・会員・センターで満足されるサービスが提供できるよう進めた。
- (3) 令和元年度より独自事業として実施している農作物栽培で、栽培・販売事業をすすめて就業機会の拡大を図った。また、新規入会者の取り込みのため、農作業や他の一般作業の就業体験活動を実施した。

- (4) 労働者派遣事業を推進し、就業機会の拡大及び適正就業に努めた。

- ・ 軽度生活援助事業の実施（2名の会員が就業した）
- ・ 「かほく市ふるさと納税」の返礼品(墓地清掃の受託は実績なし)
- ・ 農作物栽培の実施（延べ36名参加 ぶどう畑、2か所の野菜畑）
- ・ 就業体験の実施（給食配膳、ぶどう畑の除草や収穫などで9名参加）

5. 安全・適正就業の推進

安全・適正就業推進委員会を中心に安全講習会及び安全パトロールを強化し、事故撲滅を目指した。

- ・ 交通安全講習会（2月9日 26名参加 講師：津幡警察署交通課）米澤圭太様）
- ・ 市内安全パトロール（8月7日 市内2か所で実施）
- ・ 合同パトロール(今年度は対象外)
- ・ 県警支援シルバードライビングスクール（7月20日・22日 会員28名参加）
（太陽自動車学校指導員による高齢者対象の運転診断と安全指導）

6. 技能・技術講習会への参加

会員や発注者のニーズに対応できる人材育成を目的とした、センターまたは石川県シルバー人材センター連合会が主催する講習会に参加し、作業品質や技能・技術の向上を目指した。

- ・草刈り機技能講習会（4月19日 会員2名参加、5月11日 会員3名参加）
- ・剪定講習会（10月2日 会員3名参加）
- ・農作物栽培講習会（5月15日、6月6日 会員15名参加）
- ・運転派遣業務技能講習会
（6月14日 会員2名、10月31日 会員1名、11月14日 会員1名参加）

7. 会員の福利厚生と健康管理の向上

- （1）会員の知識向上と会員相互の親睦を図るため、会員互助会の自主性を尊重しつつ、活動の支援を行った。
- （2）講習会や軽運動教室等を開催し、会員の健康意識の高揚に努めた。
- （3）事務所会議室を、日時を決めて会員活動をされる方のために解放し、また、事務所以外での会員活動等の支援も行った。
 - ・健康料理講習会（12月6日 会員11名参加）
 - ・シルバー卓球愛好会（毎月2回 4～8名参加）
 - ・100歳体操の体験講座（8月22日 会員9名参加）

8. 第2次中期計画の実績評価

令和4年度に策定した、事業運営の指針となる第2次中期計画を令和8年度までの5年間について、毎年度終了後に実績評価を行い、必要であれば対策を講じた。

項目	令和4年度目標	令和4年度実績
会員数の増強	291名	274名
女性構成比	31%	31%
就業率の向上	総合就業率：91%	総合就業率：92%
受託事業の拡大	金額：140,000千円	金額：142,444千円

- ・令和6年度対策
入会説明会の回数増加、入会無料キャンペーンの検討

9. 事務局体制の充実

全シ協や県連合会などの研修会等に積極的に参加して、多様化する地域社会や会員のニーズに的確に対応できるよう職員の資質の向上を図った。

- ・SMS(ショートメッセージサービス)を使った、会員への連絡体制を継続している。